



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

加小っ子だより

令和6年1月30日 No.25

早いもので1月も月末となり、あと少して2月に入ります。まだまだ寒い日が続きます。春が待ち遠しいですね。

さて、「一月往ぬる二月逃げる三月去る」の慣用句から、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われます。これは、正月から3月まではあっという間に過ぎてしまうことを表現しています。

逃げる2月が始まります。2月に逃げ切れ、3月にもあっという間に去られてしまい、気が付けば4月、とならないように今の学年、今のクラスで一日一日を大切に過ごしていきたいものですね。



避難訓練を実施しました

1月12日(金)に地震を想定した避難訓練を行いました。

1、2学期とは違い、今回は子どもたちには事前に知らせずに、業間(20分間の休み時間)に地震が発生したことを想定して避難訓練を行いました。

地震などの自然災害はいつ起こるかわかりません。1月1日には最大震度7を記録した能登半島地震がおり、大きな被害が出ました。また、南海トラフ巨大地震が今後30年以内に80%の確率で起こるといわれています。日本国内のどこで地震がおこってもおかしくありません。訓練を繰り返し行うとともに、「自分の身は自分で守る。」という意識を持つとともに、お家のほうでも、学校以外で起こったとき、大人が近くにいないところで起こったときなど、様々な場面を想定し、ゆれているときにどのように身を守るのか、危険が少ない場所はどこか、どこに避難するのか、待ち合わせる場所はどこかなど、お子様と話し合っ、防災意識を高めていただければ幸いです。



○ 緊急地震速報が発表されたら

<出典> 気象庁 <https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/koudou/koudou.html>

緊急地震速報が出てから地震の強い揺れが来るまでの時間は、とても短く、その間に身を守る行動をとる必要があります。

緊急地震速報が発表される時の専用の音を覚えましょう。そして、専用の音を聴いたら、周りのひとに声を掛けながら、「周りを見て、あわてずに、まず身の安全を確保」しましょう。

緊急地震速報が発表されたら

あわてず、まず身の安全を！

緊急地震速報を見聞きしたとき、揺れを感じたときは危険な場所から離れるなど、状況に応じて身の安全の確保を

屋内では

- ・頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- ・つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- ・最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外では

- ・ブロック塀の倒壊に注意
- ・看板や割れたガラスの落下に注意



「やさしい日本語」で様々な国の人々とつながろう

1月12日(金)、5年生で、名古屋出入国在留管理局(略して入管)から2人の先生をお招きして、日本に住んでいる様々な国の人とコミュニケーションをとるために有効な「やさしい日本語」について教えていただきました。

入管の仕事の1つとして、困っている外国人の相談に乗ったり、日本での生活に必要なことを知らせる「在留支援」があります。その一環として2019年4月から日本人と外国人が共に暮らしともに輝く社会を築くことを目標に「多文化共生」の業務に取り組んでいるとのこと。多文化共生の業務の一環として、在留外国人の国・地域が多様化していることから、多文化共生の業務として、やさしい日本語を広める取組を進めているそうです。

子どもたちは、外国人の方にも伝わるやさしい日本語にするための4つのポイント【短く伝えよう・簡単な言葉を使おう・絵やジェスチャーを使おう・はっきり伝えよう】を教えた後、実際に使われている日本語をやさしい日本語に変換することにチャレンジしました。

入管の方からは「やさしい気持ちを持って、相手に合わせてやさしい日本語で伝えることが大切



です。」と教えていただき、苦勞しながらも、工夫し、考えてわかりやすい言葉を選びながらやさしい日本語を作っていました。

鈴鹿市はお茶の産地です

1月15日(月)から、鈴鹿市茶業組合様から鈴鹿市に寄贈があった「うがい用の粉末緑茶」を使ってお茶うがいはじめました。寄贈された粉末緑茶はカテキンの含有量が多く、殺菌作用があり、風邪予防につながります。希望した児童は、保健室で粉末を溶かしたうがい用緑茶を受け取り、うがいをしています。



1月18日(木)には、鈴鹿市役所の農林水産課の方とお茶農家の方をお招きしてお茶の話をしていただきました。

三重県は、お茶の生産量が全国3位であること。かぶせ茶の生産は全国1位で、ほとんどの製品が四日市市、鈴鹿市産であることを教えていただきました。また、同じお茶の木からとれる葉で、緑茶・ウーロン茶・紅茶は作ることができる、製法が違うだけということも教えていただきました。

お茶について教えていただいた後、急須を使ってお茶の美味しい入れ方を体験しました。しぶ味・にが味・うま味のバランスが取れたお茶を入れるには、約70℃くらいのお湯が適温なことから、ポットで沸かしたお湯を湯呑に注いでから、急須にそのお湯を入れ約1分間置くと、適温になり、おいしいお茶を入れることができる、と教えていただき、実際に子どもたちは体験していました。

最近では、急須を使ってお茶を入れることはなかなかしなくなりましたが、お子様にこの授業で教えてもらったおいしいお茶の入れ方をお聞きいただき、その通りにお茶を入れ、のんびりした気分で、ほっこりしてみるのもいいかもしれませんね。



ブラジルってどんなところ？

1月19日(金)、1年生の生活科の「ひろがれえがお」の授業で、ゲストティーチャーに教育委員会で通訳などのお仕事をしているメイレさんをお招きし、「ブラジルのあそびをたのしもう」と題してブラジルについてお話をいただきました。

授業では、ポルトガル語のあいさつやブラジルのまち、食べ物、そしてブラジルのあそびについて教えていただきました。また、ブラジルの国旗に意味についても教えていただきました。ブラジルについて一通り教えていただいた



後は、みんなでブラジルのあそびを楽しく体験しました。

お話を聞いたり、あそびを体験したりする中で、「(ブラジルの)食べ物おいしそう～、食べてみたい。」「ブラジルに行ってみたい～」とブラジルに興味を示していました。

生活単元で凧(たこ)をつくりました

たんぼぼの生活単元の授業でたこをつくりました。

自分で選んだ色の紙をらせん状に切って、糸をつけ完成です。みんな、思い思いの長さのたこにしていました。

運動場に持って行って、飛ばすために一生懸命走ると、紙がぐるぐる回りながら飛びました。

みんなで楽しい時間を過ごすことができました。



ふれあい班活動がありました

1月24日(水)5時間目に、今年度最後のふれあい班活動を行いました。

これまでふれあい班活動は業間に行っていましたが、活動する時間が短く、異学年でふれあったり、一緒に活動する時間を十分にとることが難しかったため、この日は5時間目を使って、6年生が準備した遊びを行いました。

とても寒い日でしたが、運動場や体育館でドッジボールや鬼ごっこなどを行う班、教室で椅子取りなどを行う班がありましたが、みんなが楽しく元気に活動できました。

活動後は、振り返りを行い1年間の活動のまとめを行いました。



雪がふりました

1月25日(木)、前日から降っていた雪が積もっていました。

通学途中で大きくなった雪の塊を持って登校している子どもたちの姿見て、ほほえましく思いました。また、学校についてからも雪遊びを楽しんでいました。

朝、通学路の歩道の雪を払って、子どもたちが通るときに滑らないようしていただいている地域の方がおみえになりました。いつも、子どもたちのことを気にかけていただき本当にありがとうございます。

日ごろから、地域の皆様に支えられ、本当に感謝しています。

